

民有林と国有林が連携する木材の安定供給の取組について

1 取り組みのねらい

「森林・林業再生プラン」の基本理念の一つに、林業・木材産業を環境をベースとした我が国の成長戦略の中に位置づけ、木材の安定供給体制を確立するとされているところです。現在、この基本理念の実現に向けて、九州森林管理局においても様々な取り組みを実施しているところです。

これまで、九州森林管理局では国有林材の安定供給により、合板や集成材など原料のほとんどが外材に占められていた分野において国産材需要を開拓してきました。今後、さらに国産材が外材のシェアを奪還し、木材自給率50%以上を実現していくためには、森林面積の約7割を占める民有林からの木材の安定供給が重要と考えています。このようなことから、九州森林管理局においては、木材の安定供給実現に向けて林業経営者の皆様や地方自治体関係者との意見交換等を進めてきたところです。

この度、このような取り組みの一環として、民有林と国有林が連携してロットをまとめ、大規模需要者との協定による木材の安定供給に試行的に一部地域で取り組むこととなりました。今回の試行により、取り組みのメリット、デメリットや課題などを検証し、民有林と連携のとれた供給体制の進め方や取り組みを円滑に進めるためのノウハウを整理します。

今後とも、様々な取り組みを展開し木材の安定供給の拡充等に努め、国産材の需要開拓に取り組んで参ります。

2 取組の概要

(1) 供給予定の原木と数量

供給予定原木：スギ、ヒノキ曲がり込み材、C材等未利用材

供給予定数量：国有林材 3,700m³、民有林材 1,740m³ 合計 5,440m³

(2) 民有林関係者

田島山業(株)、マルマタ林業(株)、久恒森林(株)

(3) 需要先

住友林業フォレストサービス(株)、(株)伊万里木材市場

【お問い合わせ先】

九州森林管理局 森林整備部
販売課 工藤 孝

096-328-3672